

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 406

2023年1月5日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/> mail:info@9jou.jp

2024年度成人式「20歳を祝う会」のチラシ配布ボランティア募集

宮城県内九条の会連絡会では成人式向けのパンフレット(テッシュ付き)の配布活動を行います。24年度の仙台市の成人式は「仙台市はたちの集い」として、1月7日(日)カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)で開催されます。配布活動に参加できる方は事務局までご連絡ください。集合場所:地下鉄南北線富沢駅下、集合時間:午前12時です。詳しくは下記事務局にお問い合わせください。みやぎ憲法九条の会事務局 Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160 mail:info@9jou.jp

憲法改悪をゆるさない全国署名(1/05 現在)

宮城県内9条の会連絡会 : 4,542筆 他団体 : 9,306筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約 : 13,848筆

署名欄付きハガキの増刷ができました。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数お送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

みやぎ憲法九条の会 : 〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5F

☎022-728-8812 mail:info@9jou.jp

*署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」



「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしくお願ひいたします。

宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：1月16日、23日、30日。2月は6日、13日、27日。

1月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

- 仙台市：1月19日（月）12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁平和ビル前
- 石巻市：1月19日（月）15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：1月19日（月）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点

（19日が土日に当たる場合は第3月曜日）

- 小牛田：1月19日（月）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：1月19日（月）（火）11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：1月19日（月）13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：1月19日（月）15:00～15:30 場所：岩沼駅前
- 仙南九条の会：1月19日（月）（火）11:00～ 場所：白石市ヨークベニマル前

2月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キツカりに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近 ・涌谷町：涌谷公民館前交差点 ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23 日行動：1 月 23 日(火)13：00～13：30 坂下交差点
- ・鶴ヶ谷地域九条の会：1 月 17 日(第 3 水)11：00～12：00 鶴ヶ谷生鮮市場前広場
- ・加茂九条の会：
場所：泉区、北環状線と仙台大衡線の交差点、ショッピングセンター「ランチ仙台」前、のぼり旗が目印。
毎週月・水・金曜日の 7:30～8:15、水曜日 14：00～14：30 の毎週 4 回 “ロシアのウクライナ侵略反対” でスタンディング
毎週木曜日 13:30～14:00 「大軍拡・大增税 NO！」でスタンディング

【これからの県内活動情

「百姓の声」上映会と柴田監督×宮城の農業生産者トークライブ

食べている限り、だれの隣にも「農」はある。なのにどうして「農」の世界は私たちから遠いのか。これは自然と向き合い、作物を熟知する百姓たちの叡智を訪ねたドキュメンタリー・

日時：1 月 14 日(日) 第 1 回 9：45～ 第 2 回 13:30～

会場：せんだいメディアテーク スタジオシアター

入場料：あいコープみやぎ組合員・学生：500 円 一般：1000 円

申込締め切り：1 月 8 日以前に定員を超えた場合には抽選結果を 1 月 8 日からお知らせします。

主催：食べママみやぎ 共催：生協あいこーぷみやぎ 協力：フードバンク仙台

問合せ先：食べママみやぎ tabemama.miyagi@gmail.com (担当 後藤)

核兵器禁止条約発効 3 周年

核兵器廃絶ネットワークみやぎ発足 3 周年記念イベント

中学生の時から核兵器廃絶の活動に取り組み、大学生の時に KNOW NUKES TOKYO を立ち上げ、核兵器禁止条約締約国会議や NPT 再検討会議の場に赴き現地からリポートするなど、核兵器廃絶を仕事として取り組む 24 歳の若者の取り組みから学びます。

日時： 1 月 20 日（土）13：30～16：00

会場：福祉プラザ ふれあいホール

記念講演

演題：「私たちの社会は私たちの手で作っていこう～核兵器をなくし、平和を作る～」

講師：高橋悠太さん(カクワカ「核政策を知りたい広島若者有権者の会」共同代表)

演奏会：ジャズユニット「空と大地のあいだに」

稲垣達也さん、遠藤いく子さん(2021 年結成、レパトリーを増やし各地で演奏披露)

参加費：無料。申込不要、どなたでも参加できます。

主催：核兵器廃絶ネットワークみやぎ 代表 木村緋沙子 022-243-2158

宮城県平和 6 団体企画「孫崎亨平和講演会」

「平和を構築する道の探求」

～ウクライナの和平と台湾問題の鎮静化に向けて～

私たち平和 6 団体は、東アジアを平和の地にするにはどのようなことが必要か？中々先が見えないロシア・ウクライナ戦争を終わらせるにはどうすればよいか？などを論議してきました。日々の疑問について孫崎亨氏をお招きしてお話を伺います。

日時： 1 月 21 日（日）13：30～16：00

会場：仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール

講師：孫崎 亨さん(元外務省情報局長など歴任)

参加費：500 円 どなたでも参加できます。

主催：日本中国友好協会宮城県支部連合会、宮城県平和委員会、日朝協会宮城県支部、宮城県 AALA、日本ユーラシア協会宮城県連合会、宮城県原水爆禁止協議会

連絡先：宮城県平和委員会事務局 担当：武井 FAX：022-263-6650

教えてダイゴ先生！Part 3

「社会保障ためなら消費税をガマンしないといけないのですか？」

物価高騰やエネルギー価格の上昇に加え、税や社会保障の負担増により消費者の暮らしは大変になっています。そして、長引く資材や燃料費の高騰は多くの中小企業を倒産に追い込んでいます。国はなぜ消費税率の引き下げを議論しないのでしょうか。様々な税金があるなかで消費税とはどんなものかの疑問にお答えします。

日時：1月25日（木）13:30～15:30

会場：フォレスト仙台2階第一フォレストホール

参加料：無料

参加方法：来場またはオンライン参加

定員：来場80人、オンライン100人

申込：以下の項目を記載の上 FAX またはメールでお願いします。

件名「1/25 消費税ネット講演会申込」とし、①お名前、②来場参加または Web 参加、③来場の場合は参加人数。申込者全員参加できます。案内書送付はありません。

主催：消費税引き上げをやめさせるネットワーク宮城

問合せ先：宮城県生協連気付 022-276-5162 FAX022-276-5160

E-mail: kenren@miyagi.coop

戦争を語り継ぐ上映会

「雪道 ずっと2人で生きてきた・・・」

～「日本軍慰安婦」として過酷な運命を共に耐え抜いた二人の少女の友情～

夜中に何者かに連れ去られたチョンブンは、列車の中で日本に行ったはずのヨンエと出会う。少女たちは「日本軍慰安婦」として満州に送られた。慰めあい、時には争いながら、厳しい生活に耐える二人。そんなある日、彼女たちに慰安所を脱出する機会が生まれるが…。(2015年制作 脚本：ユ・ボラ、監督：イ・ナジュン)

上映：1月27日（土）10:00～ 13:00～ 16:00～

会場：日立システムズホール3階エッグホール(仙台市青年文化センター：地下鉄旭ヶ丘駅徒歩1分)

入場券：1000円

主催：「雪道」上映実行委員会(良い映画を見る泉の会、日本軍「慰安婦」問題の早期解決をめざす宮城の会、婦人民主クラブ宮城県支部協議会)

連絡先：油谷重雄(加茂5丁目) 電話：022-378-5765 携帯：090-7068-6706

吉野作造記念館後期基礎講座

吉野作造の文章を読んでみよう

政治に関する論文、エッセイや日記等の文章を読み進め、何を現代に向けて伝えようとしたのかを「いま」から見つめたり、普段着の作造の姿を見て見ましょう。吉野作造は第一次世界大戦後の政治をどのように見ていたか吉野作造の文章から読み解きましょう。

会場：吉野作造記念館

講師：氏家 仁さん(吉野作造記念館館長)

開催日時：時間は13時～15時です。

第5回	2月10日(土)	「戦後の日口関係、日中関係をどのように見たのか」
-----	----------	--------------------------

料金：無料(常設展・企画展は別途有料です)

入館料：一般500円 高校生300円 小・中学生200円

主催：吉野作造記念館(大崎市古川福沼I-2-3 0229-23-7100、Fax 0229-23-4979)

E-mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

申込：事前申込が必要です。以下の項目をご記入の上、吉野作造記念館にお申しこみください。①名前、②住所、③電話番号、④上記5回の内、希望する講座日程

第50回 2024年2.11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会講演

「なぜ、入管は『外国人』への人権侵害を続けるのか？」

～すべての人が住みよい社会をめざして～

スリランカ人ウイシュマ・サンダマリさんが2021年3月6日、名古屋出入国管理局の収容施設で亡くなったことを通して、人権を顧みない入管の実態が次々と明らかになっています。そのような中で旧態依然の出入国管理法改正案が成立し施行されようとしています。

日時：2月12日（月）13:30～

◇13:10より、苫米地サトロさん・宮城のうたごえによる歌があります。早めにご来場ください。

会場：仙台国際センター会議棟大ホール(地下鉄東西線国際センター駅より徒歩1分)

◇インターネット配信でも視聴できます。

HP「2・11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会」

<http://211miyagi.jimdofree.com/>

講師：指宿昭一さん(弁護士)

入場：無料

主催：靖国神社国家管理反対宮城県連絡会

◇講演終了後、デモ行進を行います。

◇託児所を設けます。当日受付にお申し出ください。(無料)

仙台弁護士会第59回憲法連続市民講座

「アメリカの世界戦略と東アジアの緊張」～アジアの平和をどう作るか～

2022年12月16日、岸田内閣が「国家安全保障戦略」など「安保関連3文書」を閣議決定しました。安保関連3文書には相手の能力（反撃能力、敵基地攻撃能力）の保有などの軍事的整備を内容とするものであり、これまでのわが国の安全保障戦略を大きく転換するものです。

日時：3月2日（土）14:30～16:30

会場：仙台弁護士会館4階(仙台市青葉区一番町2-9-18)

講師：羽場久美子さん(国際政治学者、青山学院大学名誉教授)

入場：無料

◇ZOOMによるオンライン併用

オンライン参加の方は下記 URL よりご参加ください。URL は当日仙台弁護士会のホームページでもご案内します。

URL <https://us06web.zoom.us/j/89881799295>

主催：仙台弁護士会 共催(予定)：日本弁護士連合会、東北弁護士連合会

問合せ：仙台弁護士会 022-223-1001

【県内九条の会の活動】

農協人9条の会会報「平和と食・農」7号

「こんな農業に誰がした！ 担い手減少・高齢化・自給率低下」

農協人9条の会は会報「平和と食・農」7号を発行しました。農協人9条の会は「憲法9条を守れ！食料自給率向上を！」をスローガンに活動を進めています。以下、7号の冒頭部分(A4版4ページ)を紹介しします。全文お読みになりたい方は「みやぎ憲法九条の会事務局」にお申し込みください。お送りします。

食料自給率の向上・農政の根本転換は国民的課題

国民の命を支える食料の生産を担う農業の危機が深刻になっています。担い手の減少と高齢化が進み食料自給率低下に歯止めがかかりません。世界的な食料危機を受けて国民の食料供給への不安が高まる中、岸田文雄政権は食料・農業・農村基本法を見直し、来年(2024年)の国会に改定案を提出するとしています。検討されている改定の方向は、農業を衰退させた従来型政策の枠内にとどまり、深刻な現状を打開するものではありません。

1. 輸入・外国依存が危機を広げた 全く反省の無い自公政権

新型コロナの感染拡大やロシアのウクライナ侵略などに端を発した世界の食料危機は、食料の6割以上を外国に依存する日本の危うさを浮き彫りにしました。頻発する異常気象や新興国の食料需要の激増が食料供給を不安定にしています。穀物をバイオ燃料などに転換する動きも食料市場に影

響を与えています。世界はもはや、食料を思うようにいつでも輸入できる状況ではありません。

国内農業は歴史的な危機に直面しています。中心的な担い手である基幹的農業従事者は、この3年で20万人も減少しました。従事者の59%は70歳以上です。近い将来、担い手の激減は必至です。農地の減少・耕作放棄など生産基盤の崩壊も拍車がかかっています。飼料の75%、化学肥料や燃油、野菜のタネ、鶏のひなの大半も海外依存です。

一昨年からの輸入価格の急騰で資材価格は軒並み高騰しました。政府が十分な対策を講じなかったこともあり、酪農をはじめ多くの農業従事者が経営破綻や離農に追い込まれました。成り行き任せでは、自給率の向上どころか、いっそうの低下を引き起こすことは避けられません。不要な米、乳製品を中心とする農産物の輸入自由化に全く反省の無い自公政権です。